

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：コタロー小青竜湯エキス細粒

主成分：小青竜湯(Shoseiryuto)
剤形：茶褐色～黄褐色の細粒剤
シート記載など：N19



この薬の作用と効果について

- ・鼻水、鼻づまり、くしゃみ、咳、涙目などの症状があるものに用いる漢方薬です。
- ・通常、カゼ、鼻炎、気管支炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎などの治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。アルドステロン症、低カリウム血症、ミオパチー、狭心症・心筋梗塞などの心臓に障害がある、またはその既往がある。甲状腺機能亢進症がある、高血圧症がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

・あなたの用法・用量は(() : 医療担当者記入)

- ・通常、成人は1日7.5g（小青竜湯水製乾燥エキスとして5.0g）を1日2～3回に分けて、食前または食間に服用しますが、治療を受ける疾患や年齢・体重・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついたとき、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回飛ばして、次の通常の飲む時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹、発赤、かゆみ、不眠、発汗過多、頻脈、動悸、興奮する、食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、排尿障害などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・発熱、から咳、息切れ、呼吸困難[間質性肺炎]
- ・尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる[偽アルドステロン症]
- ・体がだるくて手足に力が入らない、手足がひきつる、手足がしびれる[ミオパチー]
- ・体がだるい、皮膚や白目が黄色くなる[肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法その他

- ・乳児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄 年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。